

経済安全保障のカギを握る鉱物レアアース

2026.5.21

株式会社 第一ライフ資産運用経済研究所

経済調査部 シニア・フェロー
畹峰 義清

レアメタルの一角を占めるレアアース

レアメタル一覧


リチウム (Li)	ベリリウム (Be)	ホウ素 (B)	希土類	チタン (Ti)
バナジウム (V)	クロム (Cr)	マンガン (Mn)	コバルト (Co)	ニッケル (Ni)
ガリウム (Ga)	ゲルマニウム (Ge)	セレン (Se)	ルビジウム (Rb)	ストロンチウム (Sr)
ジルコニウム (Zr)	ニオブ (Nb)	モリブデン (Mo)	パラジウム (Pd)	インジウム (In)
アンチモン (Sb)	テルル (Te)	セシウム (Cs)	バリウム (Ba)	ハフニウム (Hf)
タンタル (Ta)	タングステン (W)	レニウム (Re)	白金 (Pt)	タリウム (Tl)
ビスマス (Bi)				


※括弧内は元素記号

レアアース一覧

スカンジウム (Sc)	イットリウム (Y)	ランタン (La)	セリウム (Ce)	プラセオジウム (Pr)
ネオジウム (Nd)	プロメチウム (Pm)	サマリウム (Sm)	ユウロピウム (Eu)	ガドリニウム (Gd)
テルビウム (Tb)	ジスプロシウム (Dy)	ホルミウム (Ho)	エルビウム (Er)	ツリウム (Tm)
イッテルビウム (Yb)	ルテチウム (Lu)			

※括弧内は元素記号

 は軽希土

 は重希土

出所：各種報道資料より第一ライフ資産運用経済研究所作成

レアアースは周期表の第3族第6周期元素

Elementary: 周期表

Elementary

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18

1 H 1.0079

2 He 4.0026

3 Li 6.941 4 Be 9.0122

5 B 10.811 6 C 12.0107 7 N 14.0067 8 O 15.9994 9 F 18.9984 10 Ne 20.1797

11 Na 22.9898 12 Mg 24.305

13 Al 26.9815 14 Si 28.0855 15 P 30.9738 16 S 32.065 17 Cl 35.453 18 Ar 39.948

19 K 39.0983 20 Ca 40.078 21 Sc 44.9559 22 Ti 47.867 23 V 50.9415 24 Cr 51.9961 25 Mn 54.938 26 Fe 55.845 27 Co 58.9332 28 Ni 58.6934 29 Cu 63.546 30 Zn 65.38 31 Ga 69.723 32 Ge 72.63 33 As 74.9216 34 Se 78.96 35 Br 79.904 36 Kr 83.798

37 Rb 85.4678 38 Sr 87.62 39 Y 88.9059 40 Zr 91.224 41 Nb 92.9064 42 Mo 95.96 43 Tc [98] 44 Ru 101.07 45 Rh 102.9055 46 Pd 106.42 47 Ag 107.8682 48 Cd 112.411 49 In 114.818 50 Sn 118.71 51 Sb 121.76 52 Te 127.6 53 I 126.9045 54 Xe 131.293

55 Cs 132.9055 56 Ba 137.327 57-71 72 Hf 178.49 73 Ta 180.9479 74 W 183.84 75 Re 186.207 76 Os 190.23 77 Ir 192.217 78 Pt 195.084 79 Au 196.9666 80 Hg 200.59 81 Tl 204.3833 82 Pb 207.2 83 Bi 208.9804 84 Po [210] 85 At [210] 86 Rn [222]

87 Fr [223] 88 Ra [226] 89-103 104 Rf [267] 105 Db [268] 106 Sg [269] 107 Bh [270] 108 Hs [269] 109 Mt [278] 110 Ds [281] 111 Rg [281] 112 Cn [285] 113 Nh [286] 114 Fl [289] 115 Mc [288] 116 Lv [293] 117 Ts [294] 118 Og [294]

57 La 138.9055 58 Ce 140.116 59 Pr 140.9077 60 Nd 144.242 61 Pm [145] 62 Sm 150.36 63 Eu 151.964 64 Gd 157.25 65 Tb 158.9254 66 Dy 162.5 67 Ho 164.9303 68 Er 167.259 69 Tm 168.9342 70 Yb 173.054 71 Lu 174.9668

89 Ac [227] 90 Th 232.0381 91 Pa 231.0359 92 U 238.0289 93 Np [237] 94 Pu [244] 95 Am [243] 96 Cm [247] 97 Bk [247] 98 Cf [251] 99 Es [252] 100 Fm [257] 101 Md [258] 102 No [259] 103 Lr [262]

表示 原子量 色 分類

元素の周期表

非金属 半金属 ランタノイド (希土類)
希ガス ハロゲン アクチノイド
アルカリ金属 金属
アルカリ土類金属 遷移金属

出所：Microsoft

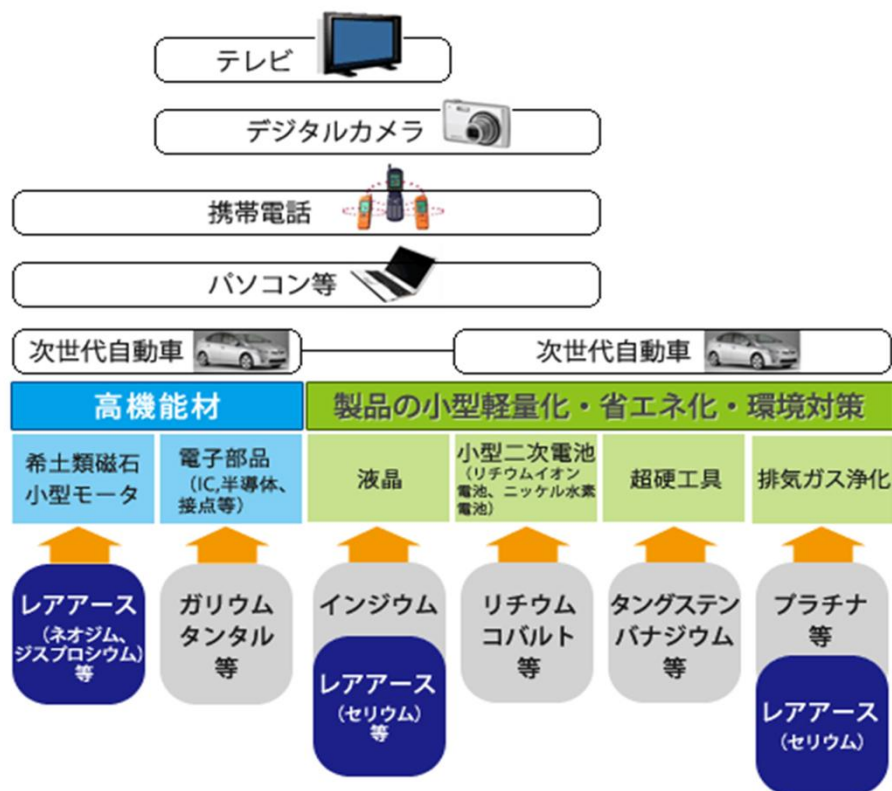
「稀」というより分離精製の困難さがポイント

～レアアースとは何か～

- ◆ レアアースは単独では存在しない
 - ✓ レアアースは鉱物に含まれている元素（レアアース元素）
 - ✓ レアアースが含まれている鉱物がレアアース鉱物と呼ばれている
 - ✓ レアアース鉱物としてバストネサイト、モナザイト、イオン吸着型粘土など
- ◆ レアアースは精製が困難
 - ✓ 化学的性質がほぼ同じ（元素周期表の同族同周期）
 - ✓ 一般的には「採掘」→「選鉱」（不要物を取り除いて濃度を上げる）→「浸出」（リーチング：硫酸などの薬品を使用して液体中に溶かす）→「分離精製」（元素毎に分類）→「金属化」（精製して酸化物の形から還元）
 - ✓ 「分離精製」には主に溶媒抽出法が使用されるが、化学的性質が似ているため、何度も抽出を繰り返す必要があり、巨大設備と手間（コスト）が必要
 - ✓ 特にDy（ジスプロシウム）とTb（テルビウム）の分離が困難
- ◆ 精製のために「酸の大量使用」「有機溶媒の使用」「放射性副産物の発生」「大量の廃液処理」が必要で、環境負荷が非常に大きい

ハイテク製品には欠かせず、省エネに貢献

レアアース、レアメタルの主な用途



出所：経済産業省

元素別レアアースの主な用途

元素	主な用途
スカンジウム	アルミ合金、燃料電池、照明
イットリウム	ジルコニア安定剤、蛍光体（赤）、光学ガラス
ランタン	FCC触媒、光学レンズ、ニッケル水素電池、鉄鋼・ casting添加剤、蛍光体、研磨剤、セラミックコンデンサー
セリウム	研磨剤、自動車用排ガス触媒、鉄鋼・ AI添加剤、ガラス添加剤（UVカット等）、FCC触媒、蛍光体、ニッケル水素電池
プラセオジウム	磁石、セラミックタイル発色材（黄）、ガラス着色剤（緑）、セラミックコンデンサー
ネオジム	ネオジム磁石、FCC触媒、ガラス添加剤、ニッケル水素電池、セラミックコンデンサー、ネオジム鉄ボロン磁石（風力発電機、EV、コンプレッサー等）
サマリウム	サマリウムコバルト磁石
ユロビウム	蛍光体（青・赤）
ガドリニウム	ネオジム鉄ボロン磁石（添加剤）、光学ガラス、蛍光体（緑）、放射線遮蔽材（医療用、原子炉、他）
テルビウム	ネオジム鉄ボロン磁石（添加剤）、印字ヘッド、蛍光体（緑）
ジスプロシウム	ネオジム鉄ボロン磁石（添加剤）、レーザー
ホルミウム	YAGレーザー（医療用など）
エルビウム	YAGレーザー（医療用など）、ガラス添加剤
ツリウム	手術用レーザー、可搬型X線装置、発光材料
イッテルビウム	YAGレーザー（医療用など）、ガラス添加剤
ルテチウム	PET装置のシンチレータ結晶（極少量）

出所：各種報道資料より第一ライフ資産運用経済研究所作成

多くの身の回りの製品にレアアースは使用されている

レアアースを含む永久磁石の主な用途（非軍用）

製品分野	主な用途
自動車・輸送機器	ハイブリッド車・EVの駆動モーター
	パワーステアリング、電動パワーウィンドウ、電動シート、各種ポンプ・ファン
	発電用オルタネーター、センサー類（ABS、回転・位置検出）
産業機械・ロボット・発電	工場用サーボモーター、工作機械の主軸モーター
	産業用ロボット・協働ロボットの関節駆動
	風力発電の直駆型発電機（DD方式）
電気・電子機器	エアコン・冷凍機用コンプレッサー、エレベーター・エスカレーター駆動
	HDD・SSD用モーター、光学ドライブ、冷却ファン
	スマートフォン・タブレット・ノートPCの小型モーター（バイブレーション、カメラAF、手ぶれ補正）
	スピーカー、イヤホン、マイクロフォン
エネルギー・インフラ・医療	各種センサー、アクチュエータ（ドローン、精密機器）
	風力・水力など再エネ発電設備の発電機
	MRIなど医療画像機器の一部モーター・位置決め機構
航空宇宙	高精度ポンプ、バルブ駆動装置
航空宇宙	航空機・ドローンの電動アクチュエータ、ポンプ、発電機

レアアースが使用されている主な家電製品

種類	品目
白物家電	エアコン、冷蔵庫、洗濯機・衣類乾燥機、掃除機（ロボット含む）
情報家電・デジタル機器	パソコン、外付けHDD、スマートフォン、タブレット、テレビ、ディスプレイ
空調・生活家電	空気清浄機、扇風機、サーキュレーター、換気扇、除湿機、加湿器、温水洗浄便座、電動歯ブラシ、電気カミソリ

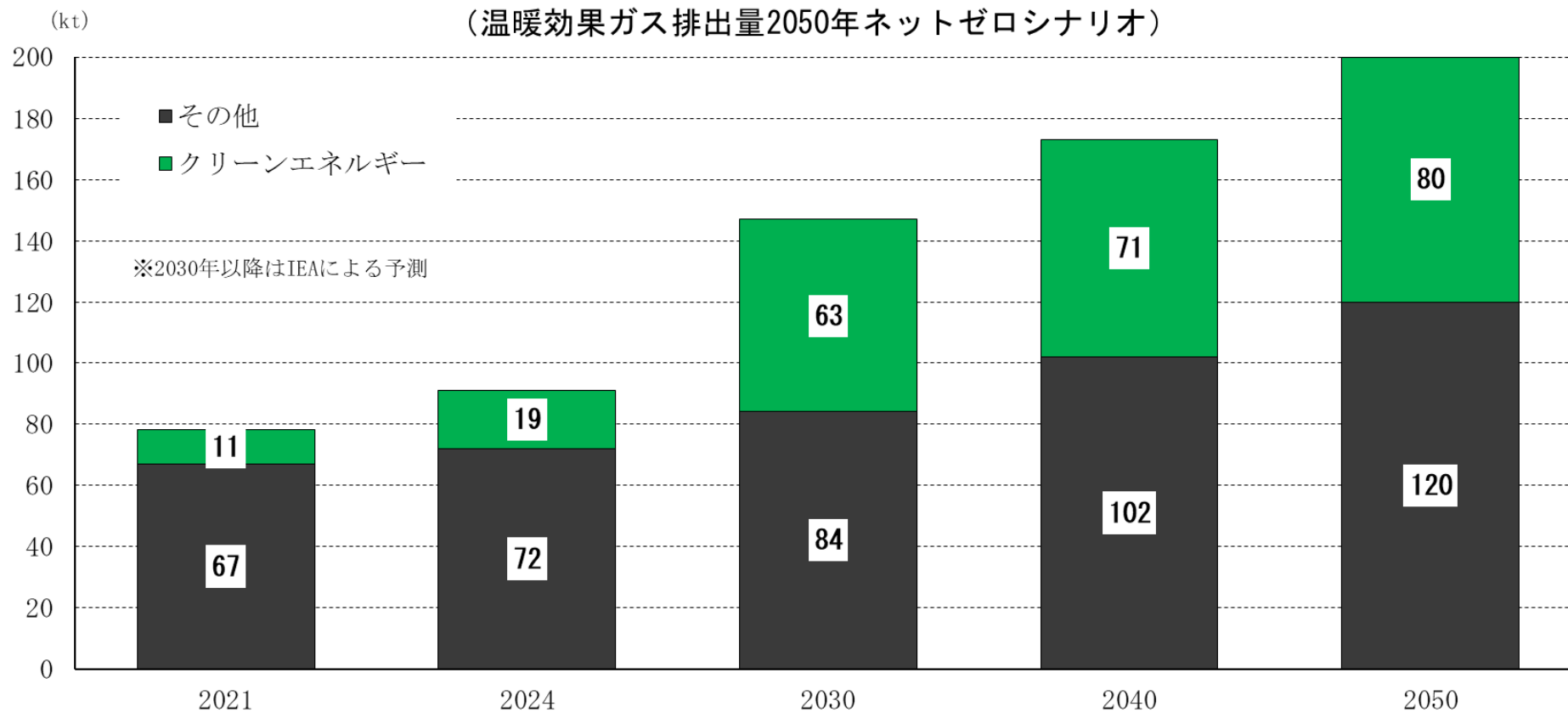
レアアース・レアメタルを使用した環境対策のための製品

分野	品目	内容
再生可能エネルギー	風力発電タービン	ネオジウムやジスプロジウム等を含む高効率永久磁石を発電機に使用
	太陽光発電パネル	インジウム、ガリウム、テルル、セレンなどがカルコゲナイト系太陽電池等の高効率薄膜太陽電池に使用
	水力・地熱・洋上風力などの発電設備	ニッケル、クロムなどが発電機・変圧器の導線、タービン部材の耐食・耐熱合金として使用
EV・ハイブリッド車	車載バッテリー	リチウム、コバルト、ニッケル、グラファイトがリチウムイオン電池の正極・負極材料として使用
	駆動モーター	ネオジウム、ジスプロジウム、テルビウムなどを含む永久磁石を高効率駆動モーターに使用
	車体軽量化	アルミニウム、マグネシウム、チタン、マンガンなどが軽量化・高強度合金として使用され、燃費・電費を向上
蓄電・送電インフラ	系統用電池（定容量型BESS）	リチウム、コバルト、ニッケル、グラファイトがリチウムイオン電池の正極・負極材料として使用され、出力変動を平準化
	パワーエレクトロニクス	シリコン、ガリウムなどがGaN（窒化ガリウム）パワー半導体、シリコンカーバイド半導体に利用され、電力ロス削減
水素・燃料電池・グリーンプロセス	燃料電池車（FCEV）・水素発電	プラチナなどの白金族金属を燃料電池触媒として使用
	産業用触媒・排ガス浄化	白金族金属やセリウムなどが使用され、大気汚染・CO2削減に寄与
省エネ家電・高効率機器	高効率エアコン・冷蔵庫・モーター機器	レアアース磁石、インバータ用シリコンカーバイド半導体により効率向上
	LED照明・ディスプレイ	ユウロビウム、テルビウム、イットリウムなどのレアアース蛍光体の使用が省エネ化に貢献

出所：各種報道資料より第一ライフ資産運用経済研究所作成

地球温暖化防止のために必須の資源

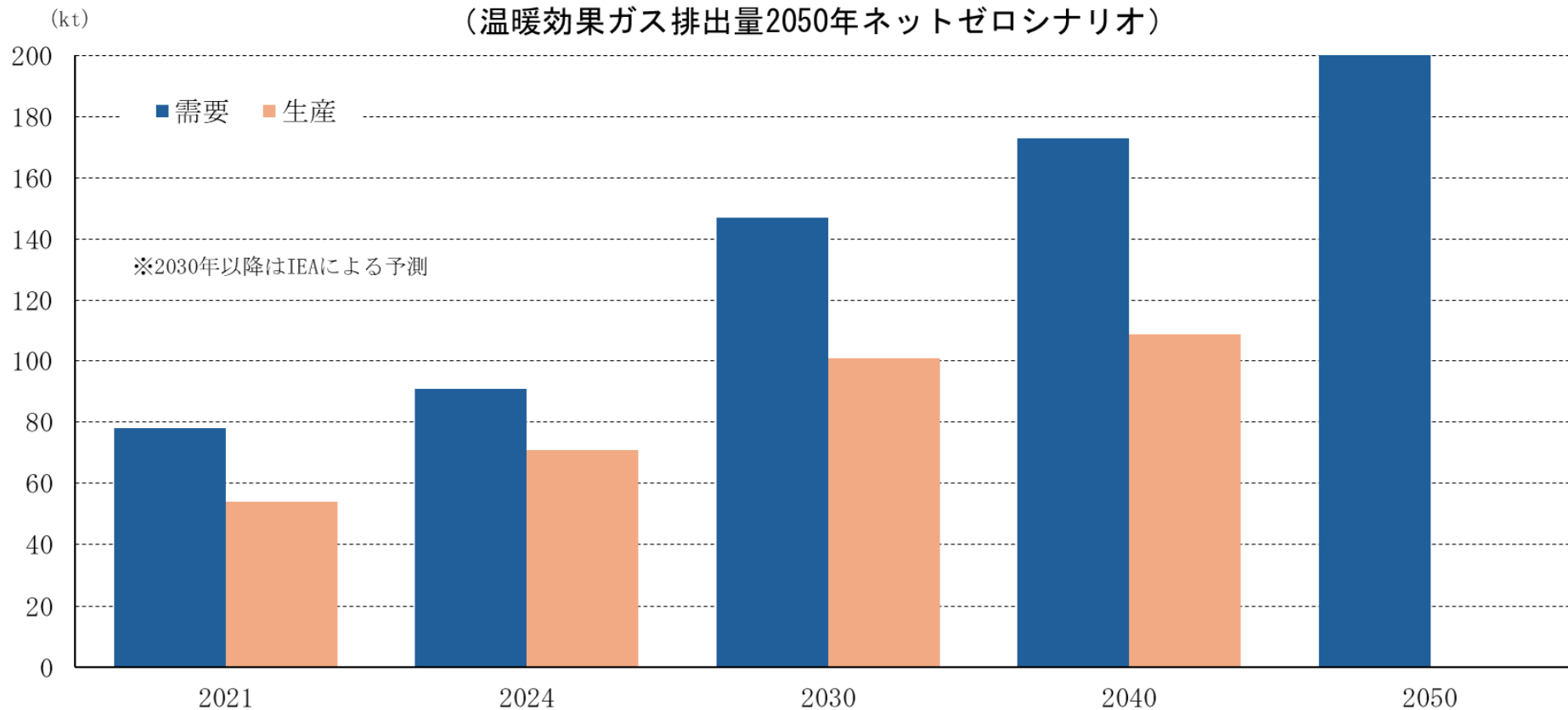
レアアースの需要見通し
(温暖効果ガス排出量2050年ネットゼロシナリオ)



出所：IEA「Global Critical Minerals Outlook 2025」

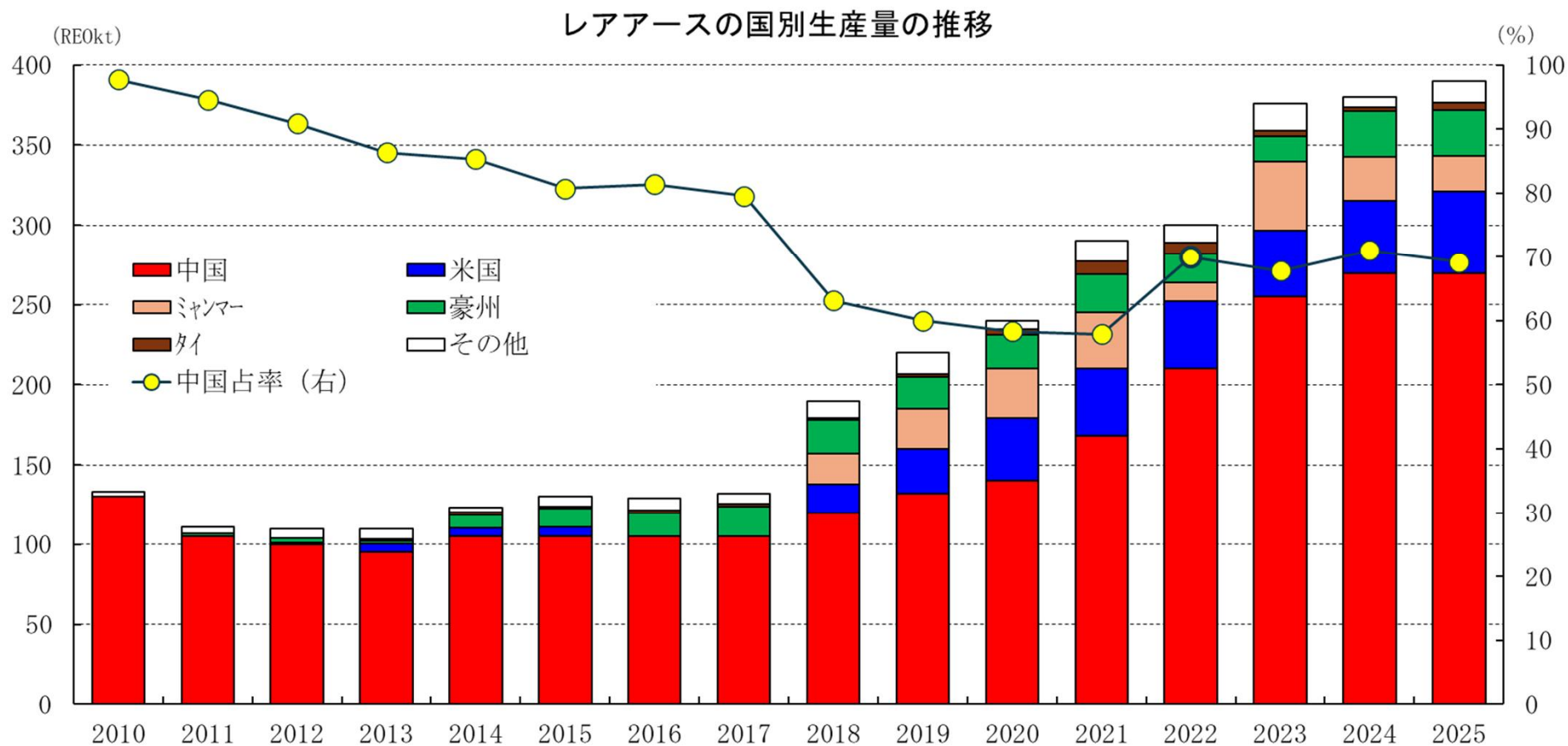
需要の拡大に対して生産が追いつかないリスク

レアアースの需要と生産見通し
(温暖効果ガス排出量2050年ネットゼロシナリオ)



出所：IEA「Global Critical Minerals Outlook 2025」

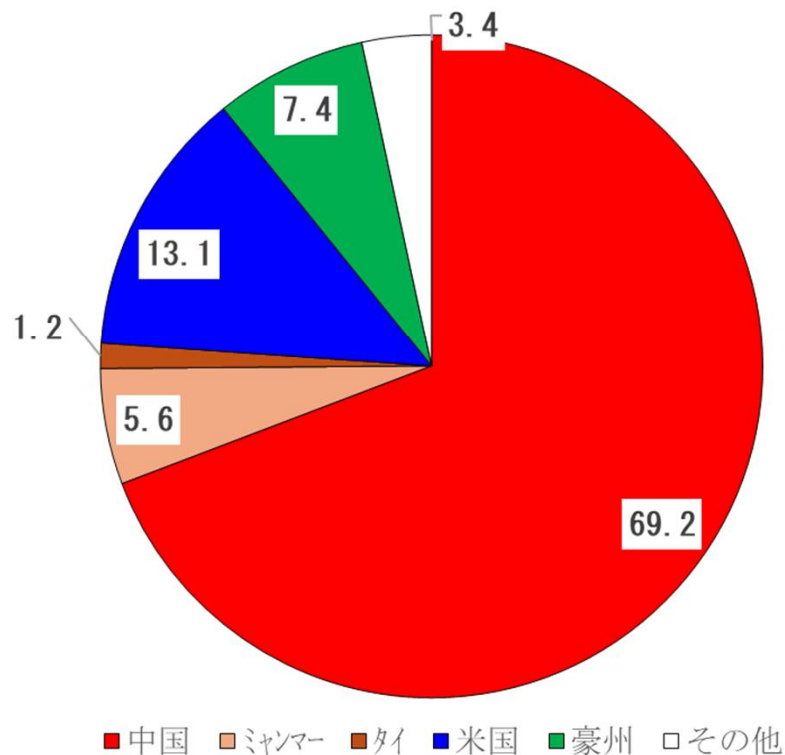
2018年頃から中国以外の国でも生産拡大



出所：USGS 「Rare Earths Statistics and Information」

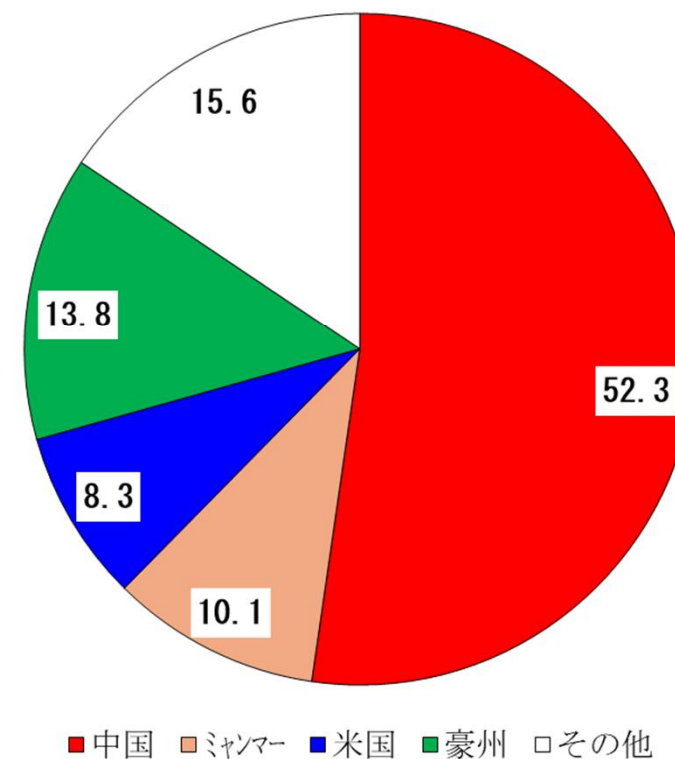
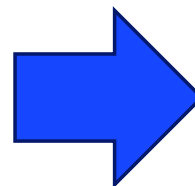
中国の占率70%がどこまで下がるか

レアアースの国別生産割合
(2025年、%)



出所：USGS「Mineral Commodity Summaries 2025」

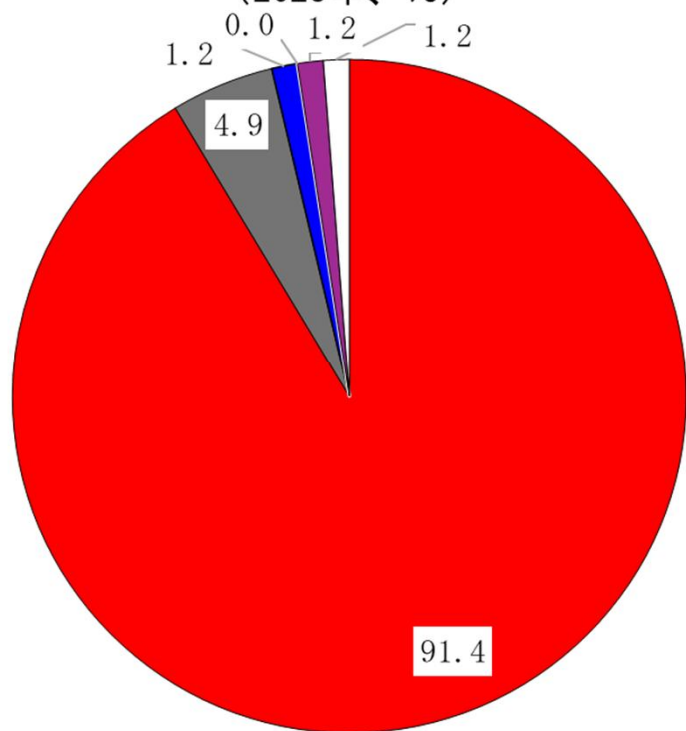
レアアースの国別生産割合予測
(2040年、%)



出所：IEA「Global Critical Minerals Outlook 2025」

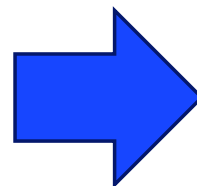
レアアースの「精製」は中国がほぼ独占

レアアースの国別精製割合
(2023年、%)

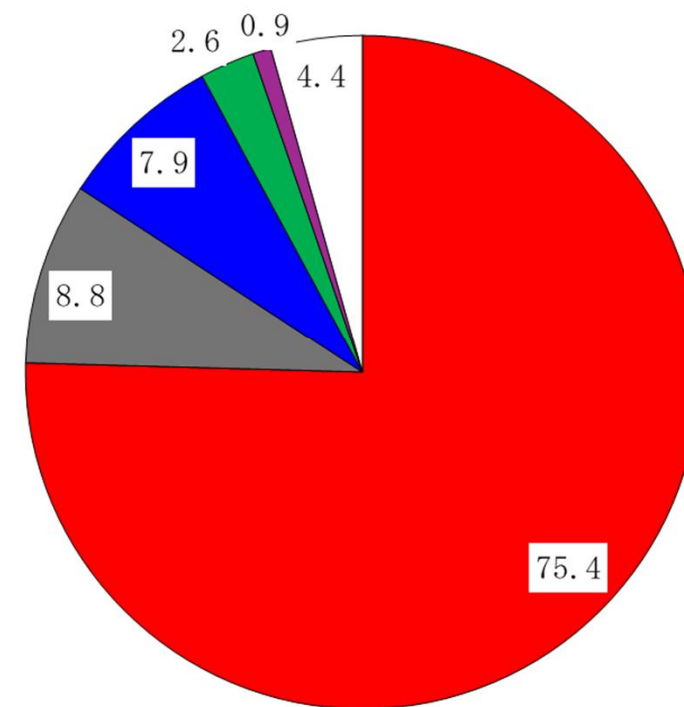


■中国 ■マレーシア ■米国 ■豪州 ■ベトナム □その他

出所：IEA「Global Critical Minerals Outlook 2025」



レアアースの国別精製割合
(2040年、%)



■中国 ■マレーシア ■米国 ■豪州 ■ベトナム □その他

出所：IEA「Global Critical Minerals Outlook 2025」

重希土類に限れば中国依存は更に大きい

世界の主要レアアース鉱山の
産出希土類 (2023年)

鉱山	国	産出レアアース比 (%)	
		軽希土	中・重希土
マウンテンパス	米国	98.7	1.3
マウントウェルド	豪州	94.7	5.3
バイユンオボ	中国	98.1	1.9
シェンウー	中国	54.4	45.6

出所：独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構
「レアアースの供給と課題」(24/6/27)

最近確認されたレアアース鉱山の
産出希土類

鉱山	国	産出レアアース比 (%)	
		軽希土	中・重希土
Browns Range	豪州	5~40	60~95
北部イオン吸着鉱	ミャンマー	50~70	30~50
Serra Verde	ブラジル	75~85	15~25
Kvanefjeld	グリーンランド	73	27
Round Top	米国	28	72

※Round Topの中・重希土類はイットリウム(Y)を含む

出所：各種報道資料より第一ライフ資産運用経済研究所作成

重希土類の主な用途 (民生用・軍事用別)

元素	主な民生用途	主な軍事用途
Gd (ガドリニウム)	MRI造影剤、原子炉制御材、磁気冷凍、光ディスク材料	原潜・艦艇の原子炉制御材、ソナー関連、核関連技術
Tb (テルビウム)	高効率蛍光体、スマホ振動部品、EVモーター磁石添加剤	ミサイル誘導、高耐熱磁石、レーダー、航空機アクチュエータ
Dy (ジスプロシウム)	EV駆動モーター、風力発電、高耐熱NdFeB磁石	F-35等戦闘機モーター、ミサイル制御、高温環境磁石、ドローン
Ho (ホルミウム)	レーザー、医療機器、光通信	レーザー測距、照準システム
Er (エルビウム)	光ファイバー増幅器 (EDFA)、通信、レーザー治療	軍用光通信、レーザー通信、LIDAR
Tm (ツリウム)	携帯型X線装置、特殊レーザー	ポータブル放射線源、夜間監視装置
Yb (イッテルビウム)	ファイバーレーザー、太陽電池、材料添加剤	高出力レーザー兵器、測距・照準
Lu (ルテチウム)	PET検査、放射性医薬品、触媒	高性能センサー、放射線検出
Y (イットリウム)	LED、液晶、セラミックス、超伝導材料、ジェットエンジン耐熱コーティング	ジェットエンジン遮熱材、ミサイル耐熱部材、レーダー、レーザー

出所：各種報道資料より第一ライフ資産運用経済研究所作成

中国はレアアースを外交取引に活用

最近の中国政府によるレアアースに絡む輸出規制強化策

2024年10月	両用品目輸出管理条例(改訂)	従来バラバラに存在していた核・ミサイル・軍民両用技術などの輸出管理リストが、輸出管理法の下で一体的に位置づけ。核関連、化学兵器関連、弾道ミサイル関連、特殊両用品目（27項目）、などのカテゴリーが整備され、その中に黒鉛やレアアースなど「臨時管理項目」も含まれる ※レアアースを軍民両用の管理対象に組み込む法的枠組みを整えた
2025年4月	レアアース輸出規制(商務部公告2025年第18号)	対象：レアアース7種（中重希土類を中心とする限定リスト） 内容：輸出許可制（軍事・安保に関連する用途・ユーザーについては原則不許可または極めて厳格な審査） ※「特定品目への一次的な輸出管理強化」が主眼
2025年10月	海外関連レアアース物品の輸出規制実施に関する決定(商務部公告2025年第61号)	ホルミウム（Ho）、エルビウム（Er）、ツリウム（Tm）、ユウロピウム（Eu）、イッテルビウム（Yb）を規制対象に追加 元素そのものだけでなく、レアアースを使う製造装置・精製設備・原材料・補助化学品まで管理対象に拡大。エクストラテリトリアル（越境適用）として、中国起源のレアアースや中国技術を用いた海外製品の輸出についても規制対象に含める余地を明示。 ※単に「中国→第三国への直接輸出」だけでなく、サプライチェーン全体に対する規律強化・影響力行使が可能になる構造

出所：各種報道資料より第一ライフ資産運用経済研究所作成

米国との交渉
で1年間延期

中国依存の引き下げは世界の生命線1

レアアース・重要鉱物の対中依存度を引き下げるための主要国の取り組み事例（1）

米国	DFARSで、レアアース、及び関連製品の一部について、中国が関わった製品の国防総省への納入を2027年より禁止
	国防総省がレアアース鉱山・分離・磁石製造に対し、2020年以降累計4億ドル超を投資
	レアアース国内最大手に対し約4億ドルの政府出資・10年間の最低価格保証・磁石生産の100%オフテイク契約などを提示し、重希土分離や磁石製造の国内能力拡充を図る
	エネルギー法2020などを通じ、「クリティカル・ミネラル」を法定カテゴリー化し、許認可の迅速化・資金支援などで国内採掘・精製投資を促進
	鉱山許認可の迅速化、インフラ優先プロジェクト指定、関税措置などを組み合わせて、対中依存の高い鉱物の国内・同盟国シフト促進
	「米日クリティカル・ミネラル枠組み（United States-Japan Framework for Securing the Supply of Critical Minerals and Rare Earths）」を創設し、採掘・精製プロジェクトへの共同投資、オフテイク契約、共同備蓄、迅速な許認可・投資保証、リサイクル・地質調査協力などをパッケージで進めることを合意
	「Mineral Security Partnership（MSP）」を通じ、日・欧州・豪・カナダなどと連携し、アフリカや南米など第三国での鉱山・精製プロジェクトを共同支援
	2026年1月、Energy Fuelsがホワイトメサ製錬所でモナザイト由来REE分離能力増強を発表。豪州・アフリカ原料の受入拡大。
	2026年2月、米政府系融資を通じてGraphite One（アラスカ）への支援拡大。中国依存度の高い黒鉛供給網の内製化を推進。
2026年3月、米国・EU間で重要鉱物協力協議を拡充。レアアース、Li、Ni、Coの非中国調達ネットワーク形成を確認。	

出所：各種報道資料より第一ライフ資産運用経済研究所作成

中国依存の引き下げは世界の生命線2

レアアース・重要鉱物の対中依存度を引き下げるための主要国の取り組み事例（2）

日本	経済安全保障推進法に基づきレアアースを含む35鉱種を「特定重要鉱物」と指定、採鉱・鉱山開発・精錬・リサイクル・備蓄までを対象とする包括的支援スキーム（補助・出資・債務保証・備蓄補填など）を2023年以降本格運用
	JOGMEC（石油天然ガス・金属鉱物資源機構）がリスクマネー供給と国家備蓄を担い、ハイリスク鉱物は180日分程度の備蓄水準を目安に在庫を確保する方針
	豪州レアアース大手企業などとの長期投資・オフテイクにより、中国依存度を2020年台半ばに50%以下とする目標
	ベトナム、ミャンマー、フランス（Caremag など）での鉱山・精製・マグネット案件を支援
	都市鉱山、使用済み電子機器からレアアース磁石を国内再生回収する循環型資源政策を拡大。
	2026年1月、日本企業がブラジルSerra Verdeとの協力強化を検討。イオン吸着型レアアースの対中代替供給源として注目。
豪州	「Critical Minerals Strategy 2023-2030」で26種の重要鉱物を指定し、採掘から精製・加工までのバリューチェーン整備と、中国への依存縮小を国家戦略として明示
	政府系ファンドや融資枠を通じて、重要鉱物プロジェクトに20億豪ドル規模の支援を掲げるとともに、対中売却案件を外資審査で差し止めるなど、中国企業による権益支配を抑制
	ノーザンテリトリーのArafura Nolansプロジェクトに約1億豪ドルの政府出資を行い、稼働後は世界需要の約5%を供給しうるネオジム系レアアース源として育成する計画
	中国以外では数少ない重希土分離・精製プラント建設を進め、今後数年で商業稼働を目指す
	米国と重要鉱物及びレアアースの供給確保のための協力枠組みを締結し、両国で今後半年間に20億ドル超の共同投資を行うこと、米輸出入銀行による22億ドル超の融資意向、豪側によるガリウム精製所やレアアース鉱山への投資などを合意
	2026年3月、豪州・米国間で重要鉱物協力枠組みを更新。レアアース分離・磁石加工への共同支援を確認。

出所：各種報道資料より第一ライフ資産運用経済研究所作成

中国依存の引き下げは世界の生命線3

レアアース・重要鉱物の対中依存度を引き下げるための主要国の取り組み事例（3）

EU	豪州と重要鉱物パートナーシップ枠組みを構築し、レアアース・リチウム等の長期オフテイク、共同投資、政治リスク保険や長期契約でレアアース輸入の対中依存押し下げ
	重要原材料法を制定し、レアアースを含む戦略的クリティカル原材料について、2030年までに「採掘10%・加工40%・リサイクル15%以上をEU域内で賄い、どの第三国にも輸入依存を65%未満に抑える」といった数値目標を設定
	「RESourceEU行動計画」を採択し、重要原材料のデリスクングと供給多角化のために、投資支援・許認可迅速化・在庫管理・共同調達などを束ねる
	EU・第三国の鉱山・精製・リサイクルプロジェクトへの約30億ユーロの公的支援、及び需要監視・共同調達・備蓄・緊急供給などを一元的に担う重要原材料センター設立を提案
	レアアース磁石に含まれるスクラップ・廃棄物の域外輸出を制限し、アルミや将来的には銅スクラップにも類似措置を広げることで、域内リサイクルと二次資源循環を強化
	EU企業が中国外磁石サプライチェーン構築へ共同投資を拡大。
韓国	「国家資源安保特別法」により、早期警戒・備蓄・輸入多角化・インフラ整備などを柱とするクリティカルミネラル戦略を法制化し、2030年までに重要鉱物の対中輸入依存を約80%から50%へ引き下げる目標
	政府系金融を通じて海外鉱山・精製案件への投融資や保険を拡充し、資源リサイクルや「8日以内の緊急放出」を可能にする在庫・配給体制を整備
	豪州との間でリチウム・ニッケル・レアアースなどのサプライチェーン連携を進め、採掘から精製・電池材料・EVまでつなぐ「実務レベルで機能している」重要鉱物パートナーシップ構築を目標
	対中依存低減を目的にレアアースリサイクル技術支援を拡充。
その他	日米豪印（QUAD）は、都市鉱山活用やリサイクル技術支援によるサプライチェーン安定化、ASEAN諸国への技術協力強化を決定。
	G7で重要鉱物のサプライチェーン強化、協調行動で合意。

出所：各種報道資料より第一ライフ資産運用経済研究所作成

両用品の対日輸出強化策を発表

商務省告示第1号（2026年）：対日二重用途品の輸出規制強化に関する告示

【発行機関】安全管理局

【文書番号】商務省公告第1号（2026年）

【発行日】2026年1月6日

中華人民共和国輸出管理法その他の関連法令の規定に基づき、国家の安全保障及び利益を守り、不拡散などの国際義務を履行するため、対日二重用途品の輸出管理を強化することを決定した。関連事項をここに公表する。

軍事目的、および日本の軍事能力を高める可能性のあるその他の最終使用目的のために、日本の軍事利用者へのあらゆる軍民両用物品の輸出は禁止されている。

中華人民共和国を原産地とする関連する軍民両用物品を日本国内の組織または個人に譲渡または提供することにより、上記の規定に違反する国または地域の組織または個人は、法的責任を問われる。

本発表は、公表日から効力を生じるものとする。

20社を両用品目の輸出禁止対象に

【発行機関】 安全管理局
【文書番号】 商務省公告第11号 (2026年)
【発行日】 2026年2月24日

中華人民共和国輸出管理法及び中華人民共和国軍民両用物品輸出管理規則の関連規定に従い、国家の安全保障及び利益を守り、不拡散などの国際義務を履行するため、日本の軍事力強化に關与する三菱造船株式会社を含む日本の20の事業体を輸出管理リストに追加し（別添参照）、以下の措置を講じることが決定した。

1. 輸出業者は、前述の20の団体に軍民両用物品を輸出することを禁じられ、外国の組織および個人は、中華人民共和国を原産地とする軍民両用物品を前述の20の団体に譲渡または提供することを禁じられる。現在進行中の関連活動は直ちに中止しなければならない。
11. 輸出が真に必要とされる特別な状況においては、輸出者は商務省に申請書を提出しなければならない。

本発表は、公表日から効力を生じるものとする。

20社を輸出時の厳格審査対象に

【発行機関】 安全管理局

【文書番号】 商務省公告第12号（2026年）

【発行日】 2026年2月24日

中華人民共和国輸出管理法及び中華人民共和国軍民両用物品輸出管理規則の関連規定に基づき、軍民両用物品の最終使用者及び最終用途が確認できないスバル株式会社を含む日本の企業20社を懸念リストに含めることが決定された（別添参照）。

前述の団体に軍民両用物品を輸出する輸出業者は、包括許可を申請したり、登録および情報提出による輸出証明書を取得したりすることはできません。個別許可を申請する際には、監視対象団体に関するリスク評価報告書を提出し、軍民両用物品が日本の軍事力強化に資する目的で使用されないことを書面で確約する必要があります。許可審査期間は、「中華人民共和国軍民両用物品輸出管理条例」第17条第1項に規定する期限の影響を受けません。

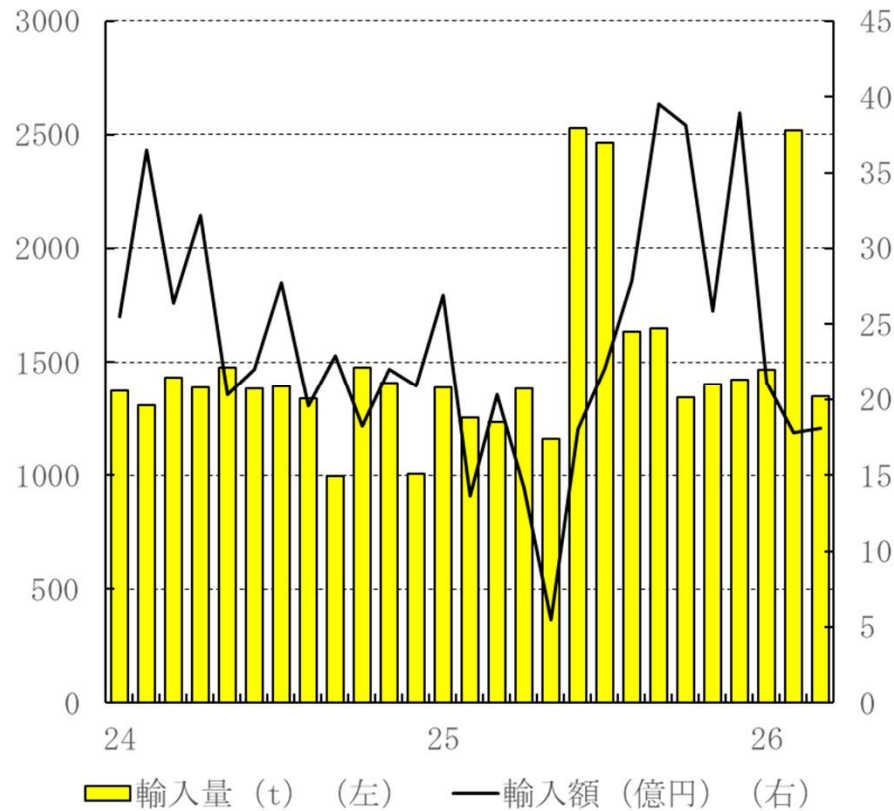
商務省は、監視リストに掲載されている企業による軍民両用物品の輸出について、最終使用者および最終用途に関する審査を強化する。日本の軍事使用者、軍事用途、および日本の軍事力強化に寄与するその他の最終使用用途を含む輸出は承認されない。

監視リストに掲載されている団体は、中華人民共和国軍民両用物品輸出管理条例第26条に基づき、検証への協力義務を履行した場合、監視リストからの削除を申請することができる。商務省は、検証後、当該団体を監視リストから削除することができる。

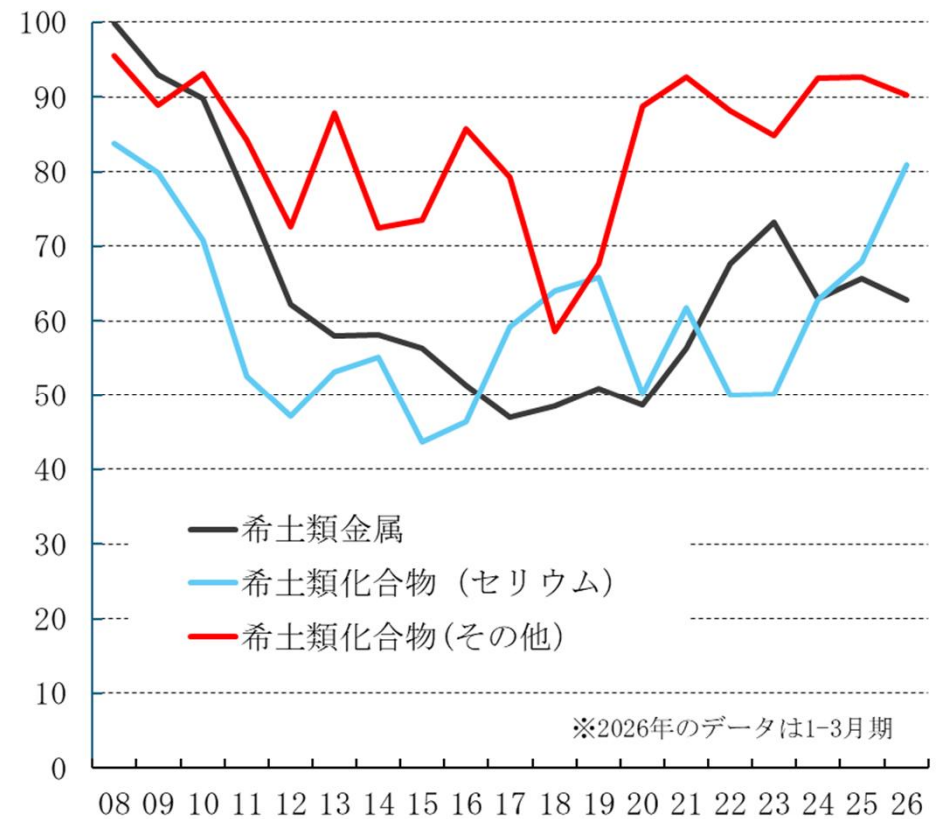
本発表は、公表日から効力を生じるものとする。

輸出規制による影響は明確には見えず

中国からのRE輸入量と金額の推移

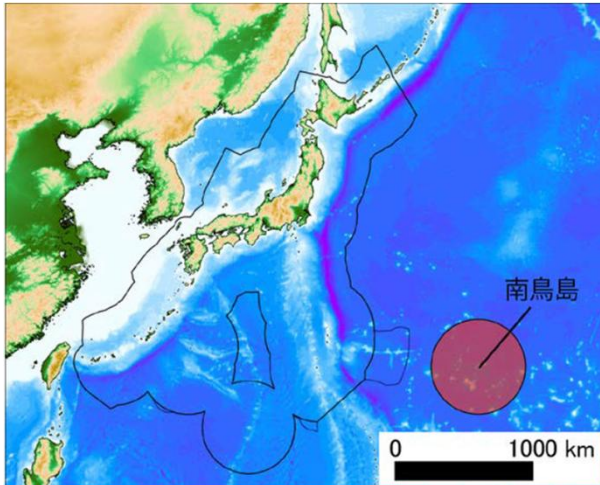


(%) 日本のRE輸入に占める中国のシェアの推移



出所：財務省「貿易統計」

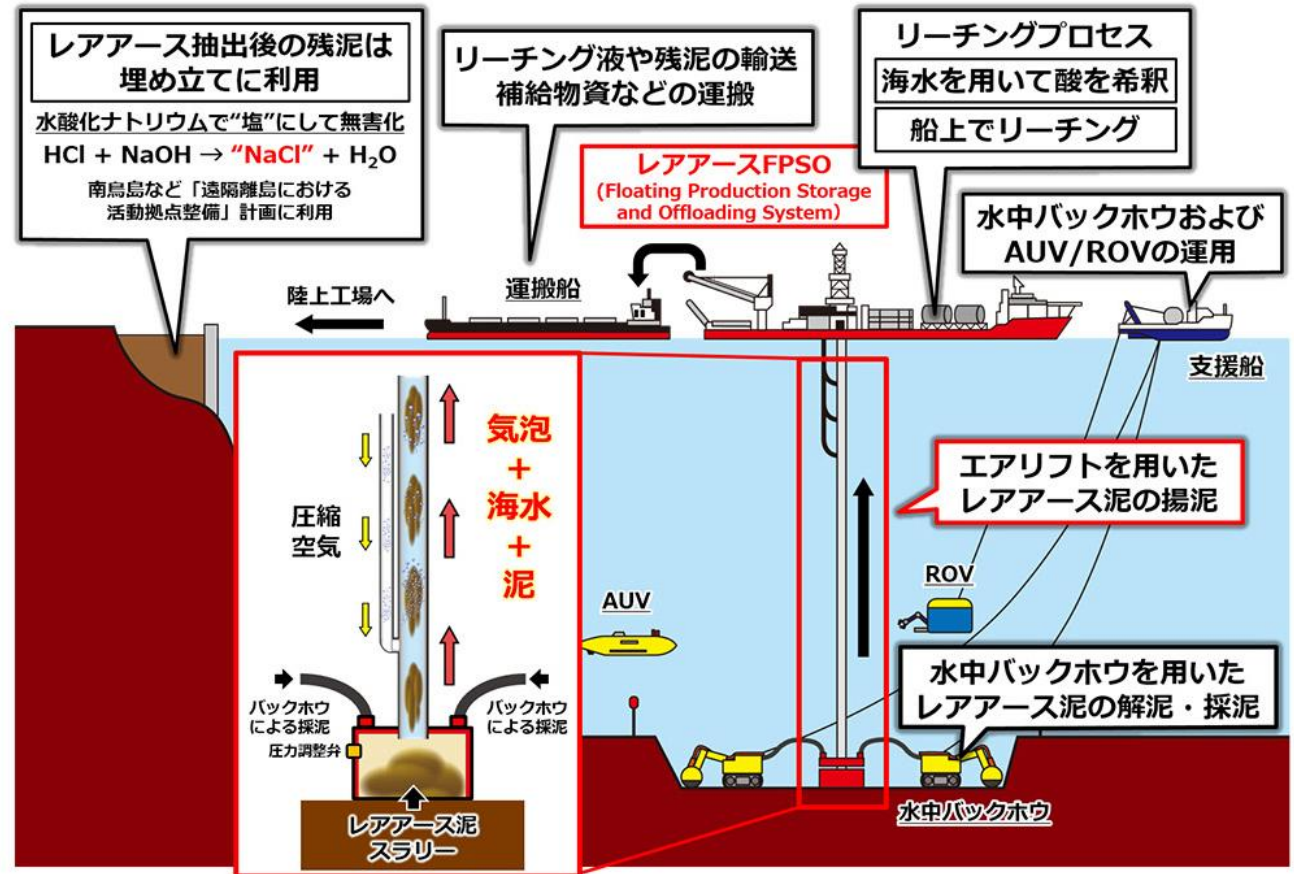
南鳥島レアアース開発は脱中国の切り札となるか



出所：経済産業省資源エネルギー庁
独立法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構
「レアアース堆積物の資源ポテンシャル評価」報告書



出所：小笠原村HP



出所：東京大学基金HP「南鳥島レアアース泥・マンガンノジュールを開発して日本の未来を拓く」

2010年のレアアース輸出規制とともに開発進展

南鳥島沖レアアース開発の歩み

2000年代後半	深海堆積物中にレアアースが濃集している可能性に注目（東京大学加藤泰浩教授グループ） 調査船による海底サンプル採取（ピストンコアラー方式）
2011年	南鳥島沖EEZから異常に高いレアアース濃度（通常海底比数十倍～数百倍）を検出 加藤教授らがNature Geoscience誌に「Deep-sea mud in the Pacific Ocean as a potential resource for rare-earth elements」を発表
2012年	南鳥島EEZで本格探査開始
2016年	追加掘削、コア調査実施
2017年	超高濃度レアアース泥の存在を公表
2018年	科学誌「Scientific Reports」論文などで巨大資源量推計（約2500km ² の海域にREO換算で1600万トン超＝世界需要数百年分規模）を公表
2022年	経済安全保障推進法が成立、特定重要物資についてサプライチェーンの強靱化が制度化
2022年	深海採鉱試験準備（水深6000m級の実証準備）
2026年	試掘実施、成功

出所：各種報道資料より第一ライフ資産運用経済研究所作成

～なぜ南鳥島近海にレアアースが豊富に存在するのか～

- ◆ 「普通の泥がほとんど積もらない＝希釈する泥がほとんど供給されない」ため、濃度が高い
 - ✓ 大陸から遠い
 - ✓ 河川が無い
 - ✓ 火山活動帯から比較的遠い
- ◆ 深海循環（海流）の通り道となっており、長期間にわたりレアアース元素が供給
- ◆ 周辺に海山が多数あり、上昇流・渦流・局所循環により生物生産や粒子の沈降が起こりやすい
- ◆ レアアースを非常に吸着しやすいリン酸塩が豊富
 - ✓ 魚の骨や歯などに由来する生物起源リン酸塩が豊富
- ◆ 非常に古い海洋プレート上にあり、大規模な地殻変動が少ない
- ◆ 深海水中では重希土類の方が溶存しやすいと考えられている

出所：各種資料を元に第一ライフ資産運用経済研究所作成

太刀打ちできない開発コストをどこで吸収するか

採掘コスト

中国大型鉱山	軽希土類が中心	10~20ドル/kg
中国イオン吸着鉱	NdPr	50~70ドル/kg
ミャンマー	重希土類	中国並み~低い
米国	新規鉱山	75~150ドル/kg
日本	南鳥島	150~200ドル/kg?

注：日本については筆者試算による

出所：各種報道資料より第一ライフ資産運用経済研究所作成

レアアースは分離・精製が 総コストの80~90%

レアアース関連技術の日中比較

中国	日本
巨大設備	高機能プロセス
大量処理	高選択分離
低コスト	高付加価値
高環境負荷	低環境負荷

レアアース元素毎の市場取引価格

ランタン (La)	ランタン酸化物	約10ドル/kg以下
セリウム (Ce)	セリウム酸化物	約3ドル/kg
プラセオジウム (Pr)	プラセオジウム金属	約20,000ドル/kg
ネオジウム (Nd)	ネオジウム酸化物	80~140ドル/kg
	ネオジウム金属	135~140ドル/kg
ネオジウム・プラセオジウム混合酸化物 (NdPr)		約108ドル/kg
サマリウム (Sm)	サマリウム金属	約3,800ドル/kg
ユーロピウム (Eu)	ユーロピウム金属	約3,800ドル/kg
ガドリニウム (Gd)	ガドリニウム金属	約500ドル/kg
テルビウム (Tb)	テルビウム酸化物	約4,000ドル/kg
	テルビウム金属	約4,680ドル/kg
ジスプロシウム (Dy)	ジスプロシウム酸化物	930ドル/kg
	ジスプロシウム金属	4700ドル/kg
ホルミウム (Ho)	ホルミウム金属	約2,400ドル/kg
エルビウム (Er)	エルビウム金属	約3,700ドル/kg
ツリウム (Tm)	ツリウム酸化物	約180ドル/kg
イッテルビウム (Yb)	イッテルビウム酸化物	約32ドル/kg
ルテチウム (Lu)	ルテチウム酸化物	約707ドル/kg
	ルテチウム金属	約66,700ドル/kg
スカンジウム (Sc)	スカンジウム酸化物	数千ドル/kg
イットリウム (Y)	イットリウム酸化物	約125ドル/kg

注：本表作成時点（2026/5/14）で入手できたもの

出所：各種報道資料より第一ライフ資産運用経済研究所作成

第一ライフ資産運用経済研究所ホームページには、在籍エコノミスト、研究員によるレポートなどを多数掲載しております。
資産形成にお役立ちする情報の一つとしてご活用いただければ幸いです。



髙峰義清のコーナーリンク

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一ライフ資産運用経済研究所が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。